

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位(時間)	科目責任者
遺伝子染色体検査学	2年次	必修	講義	1単位(30時間)	山口 聖子
授 業 概 要					
<p>近年の遺伝子解析技術の発展により、多くの疾患が遺伝子検査できるようになった。現在では、遺伝性疾患や悪性腫瘍の診断、病原性微生物の同定、個人の識別などが行われている。遺伝子染色体検査学では、検査の基礎となる遺伝子解析技術の原理、検査方法、代表的な疾患について学ぶ。</p>					
到 達 目 標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・細胞分裂の様式(体細胞分裂・減数分裂)について説明できる。</li> <li>・染色体の構造、分類について説明できる。</li> <li>・染色体の数の異常、構造の異常について説明できる。</li> <li>・DNAの複製、遺伝子の発現について順序立てて説明できる。</li> <li>・遺伝子染色体の代表的な検査方法について説明できる。</li> <li>・代表的な染色体疾患について、染色体異常と関連付けて説明できる。</li> <li>・代表的な遺伝子疾患について、遺伝子異常と関連付けて説明できる。</li> </ul>					
回	学 習 内 容				担当教員
1	遺伝子とは、細胞の構造と機能				山口 聖子
2	細胞分裂、細胞周期				
3	核酸の種類と構造				
4	DNAの複製				
5	遺伝情報の伝達と発現				
6	遺伝子変異				
7	遺伝子異常と疾患				
8	遺伝子治療と倫理的問題				
9	遺伝子の検査法(1)				
10	遺伝子の検査法(2)				
11	染色体の構造と分類				
12	染色体異常の種類				
13	染色体異常と疾患				
14	染色体の検査法(1)				
15	染色体の検査法(2)				
学 習 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じてプリントを配付するが、基本的には教科書を中心とした授業である。</li> <li>・授業開始前に関連する部分を読んでおくと理解が一層深まる。</li> </ul>					
評 価 方 法					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義開始時に小テストを実施する。</li> <li>・遅刻や欠席等で小テストを受験しなかった場合は0点とするが、正当な理由がある場合は追試験を実施する。</li> <li>・定期試験(70%)及び小テスト(30%)により評価する。</li> <li>・再試験の評価も同様であるが、小テストは再評価しない。</li> </ul>					
先 修 科 目					
生物学					
教科書、参考書					
<p>[教科書] 最新臨床検査学講座 遺伝子・染色体検査学 池内達郎 他 医歯薬出版株式会社</p>					